●質的研究（記述,質的研究全般）のクリティーク・チェックシート（作成：2020.6.1）

抄読する論文の掲載誌名： （IF:　　　　／雑誌のランキング　　　　　）

抄読する論文の被引用回数：

発表者氏名：

発表日：

抄読する理由：

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | チェック項目 | チェック（○△×） | チェックの理由  （記載箇所を示すだけではNG） |
| タイトル | | タイトルは研究のテーマや研究方法論／研究デザインを示しているか |  |  |
| 抄録 | | 雑誌の投稿規定に沿って、研究の要約が簡潔に記載されているか。 |  |  |
| 序論 | | 適切な文献を引用し、この研究テーマについて、既に明らかにされていること、先行研究の限界について記載されているか  上記に基づき、この研究の必要性が述べられているか |  |  |
| リサーチクエスチョンは対象者の主観的体験や関連する要因を記述／探求するという質的記述的研究の原則に沿って明確に述べられているか |  |  |
| 目的 | | 研究で明らかにしたいことは目的として明確に記述されているか |  |  |
| 方法 | 研究デザイン | 質的記述的研究は研究目的にふさわしいものか |  |  |
| 選択した研究デザインを用いる適切な根拠が、適切な引用文献を用いて述べられているか |  |  |
| サンプリング | 目的に沿った適切な対象者を選択しているか |  |  |
| データ  収集方法 | 収集したデータの種類は研究目的に対して適切か（例　インタビューデータ、グループインタビュー、会話データ、テキストデータ、観察データ） |  |  |
| データ（分析も含む）の信用可能性（credibility）の検証方法を記述しているか（例：トライアンギュレーションやメンバー・チェック、ピア・デブリーディングなど） |  |  |
| データ収集の手順は明確に記述されているか |  |  |
| 研究目的に合った十分な量のデータが収集されているか（例：対象者数、インタビューの時間・回数、収集したデータ量の明確な根拠など） |  |  |
| データ分析 | 分析方法の選択理由は適切で明確に記述されているか |  |  |
| データの種類と分析における原則や手順は十分に記述されているか（例：逐語録など） |  |  |
| 選択した分析方法（例　質的内容分析、あるいは主題分析など）に従って、データの熟読、コード化、カテゴリー化、（あるいはテーマ構築まで）がなされたと判断できる記述があるか |  |  |
| 倫理的配慮 | 対象者に対する研究の説明は適切に行われたか |  |  |
| 対象者の同意を得ているか |  |  |
| 倫理委員会の承認を受けているか |  |  |
| 結果 | | 対象者の特徴が記述されているか |  |  |
| データ収集に関する結果が記述されているか（例：インタビュー時間や回数、人数など） |  |  |
| 分析結果は抽出したカテゴリーやテーマを軸に詳細で明確に記述されているか |  |  |
| 研究結果は研究目的と一致しているか |  |  |
| オリジナルデータからの引用は適切で十分な量が含まれているか |  |  |
| 引用したオリジナルデータは関連するカテゴリーやテーマを支えていると判断できるか |  |  |
| 予想に反した／矛盾した結果についても記述されているか |  |  |
| 考察 | | データ、分析、結論のつながりは明確であるか |  |  |
| 主な研究結果は先行研究を背景に説明され考察されているか |  |  |
| 研究結果の転用可能性について記述されているか |  |  |
| 研究の限界やさらなる研究の必要性について記述されているか |  |  |
| 引用文献 | | その研究分野における重要で専門的な情報が網羅されているか |  |  |
| 先行文献は適切に文中に提示または引用されているか |  |  |
| 資金提供者 | | 研究助成などの資金源を記述しており、利益相反の恐れはないか。（研究内容に照らし合わせて、研究資金の有無の妥当性も確認する） |  |  |
| **参考文献**  1.Belotto MJ. Data Analysis Methods for Qualitative Research: Managing the Challenges of Coding, Interrater Reliability, and Thematic Analysis. The Qualitative Report, 2018;23(11):2622-33.  2.Bengtsson M. How to plan and perform a qualitative study using content analysis. NursingPlus Open. 2016 2016/01/01/;2:8-14.  3.Castleberry A, Nolen A. Thematic analysis of qualitative research data: Is it as easy as it sounds? Currents in pharmacy teaching & learning. 2018 Jun;10(6):807-15.  4.Cypress BS. Rigor or Reliability and Validity in Qualitative Research: Perspectives, Strategies, Reconceptualization, and Recommendations. Dimensions of Critical Care Nursing. 2017;36(4):253-63.  5.Kim H, Sefcik JS, Bradway C. Characteristics of Qualitative Descriptive Studies: A Systematic Review. Research in nursing & health. 2017 Feb;40(1):23-42.  6.Sandelowski M. Whatever happened to qualitative description? Research in nursing & health. 2000 Aug;23(4):334-40.  7.Sandelowski M. What's in a name? Qualitative description revisited. Research in nursing & health. 2010 Feb;33(1):77-84.  ★チェックシートについてわかりにくいところがある場合は、本書に例を挙げて詳しく説明していますのでぜひ参考にして下さい。  『研究手法別のチェックシートで学ぶ よくわかる看護研究論文のクリティーク 第2版』（<http://jnapcdc.com/cq>） | | | | |